

「SDGs貢献ソリューション」の概要

当社グループは、手のひら静脈認証やRFIDタグ（リネンタグ）、ビーコンなどの先進技術を有したハードとソフトを組み合わせたソリューションを開発・提供し、金融・流通・公共・医療・物流・モビリティなどの市場においてお客様の多種多様なニーズ・期待に応え、金融機関や病院、商業施設など世の中の様々な場面をサポートしています。

SDGs貢献ソリューションは、SDGsで注目される気候変動などの環境問題への貢献のほか社会・経済の持続可能な発展にも貢献するために当社グループが開発したソリューションです。社内で当ソリューションの適合基準などを運用ガイドラインに定めて制度化し、活動を推進しています。

SDGs貢献ソリューションの概要ページ：

<https://www.fujitsu.com/jp/group/frontech/about/sustainability/environment/sdgs/>

2022年度「SDGs貢献ソリューション」の実績

2022年度は、以下8件のSDGs貢献ソリューションを開発・提供することができました。

【2022年度のSDGs貢献ソリューション】

項	ソリューション名称	環境改善率*
①	患者案内システム	-25.1%
②	LINE連携モバイルシステム	-33.3%
③	AIチャットボットサービス「TeamConnect」	-66.6%
④	デジタルイメージ採点システム	-29.4%
⑤	ATMサービス基盤 リモート運用サービス	-45.9%
⑥	某産業向け予約システム	-30.0%
⑦	公営競技向けQR投票システム	-16.2%
⑧	FACT-X「係員レシート印刷削減機能」	-28.6%

*環境改善率：

ソリューション導入前後の人・物の移動量、作業工数、機器の消費電力などに由来するCO₂排出量を比較し、導入前を基準に導入後に減少した割合を表す。

SDGs貢献ソリューションのご紹介ページ：

<https://www.fujitsu.com/jp/group/frontech/solutions/csr/sdgs/index.html>

「SDGs貢献ソリューション」の事例紹介

LINE連携モバイルシステム

■ システム概要

「LINE連携モバイルシステム」は、外来患者様のスマートフォンのLINEのトークメッセージ上で、診察状況や予約確認などの各種情報を患者様にご提供することで、快適な待合スペースを実現するソリューションです。

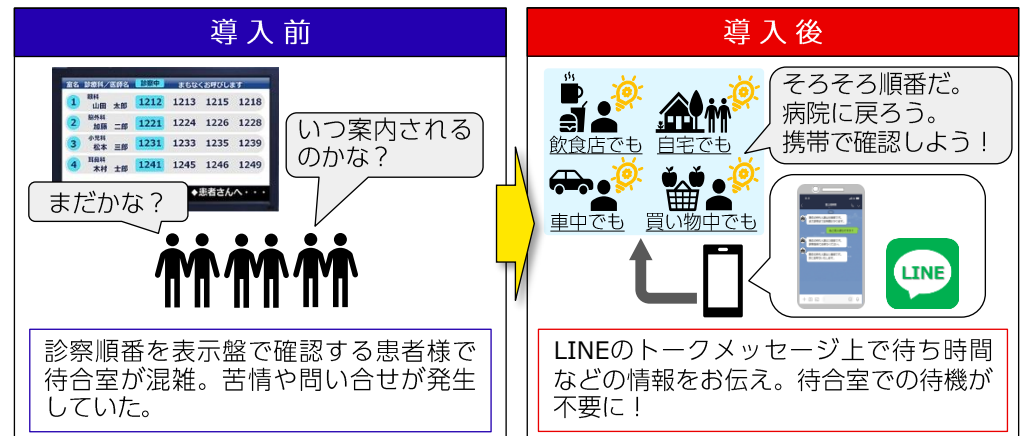
当ソリューションを導入することで、患者様を待合室でお待たせすることなく、別の場所で順番を待つ患者様のトークメッセージに、まもなく診察である旨を通知することや、患者様が入力されたメッセージに対して診察待ちの人数を自動返信することなどが可能です。

これにより、病院のサービス向上につながるだけでなく、患者様の呼び出し業務の効率化が図れます。また、待合室の混雑緩和による感染予防も期待できます。加えて、業務効率向上の結果として、CO₂排出量の削減にも貢献します。

■ 導入前・導入後のイメージ

トークメッセージ上で患者様に待ち時間等をお知らせすることで、

- ① 待ち時間が分からない患者様からの苦情が減ります。
- ② 患者様からの診察順番に関する問い合わせが減ります。



SDGsに貢献する要素(例)



3 すべての人に健康と福祉を
外来患者に対するサービス向上により、質の高い医療サービスへのアクセスを実現する。



13 気候変動に具体的な対策を
ICT導入による生産性の向上業務改善等により、お客様におけるCO₂排出量を削減する。